

睡眠障害治療薬院内フォーミュラリ

- 日中の機能障害や不眠症状の特徴から治療の要否を判定する
- 睡眠衛生指導を行う
- 眠気の持ち越しといった副作用を確認する

2024年8月8日 宮崎地震発生(臨時情報発令)
2024年9月 南海トラフ地震を意識し薬品卸各社に情報共有

監修 精神・神経科 奥小路 明子 医師 (2021年3月初版作成)
2025年4月 薬価改訂

★24時までに内服することが望ましい★

入眠困難のみ

第一推奨薬

デエビゴ錠5mg
1錠 分1寝る前

(71.3円/5mg/錠)
(44.9円/2.5mg/錠)

- 併用禁忌薬なし
- 重度の肝障害(Child-Pughスコア10~15)は**禁忌**
- ★及び併用注意の薬剤がある場合
→**2.5mg**で併用可能
- 年齢による用量調節**不要**
- 眠気の持ち越しある場合→2.5mgに減量

ベルソムラ錠15mg
1錠 分1寝る前

(90.8円/錠)

- ★と併用**禁忌**
- 年齢により用量調節が**必要**(高齢者15mg)
- 細かな用量調節はできない

◆呼吸状態不良
◆ベルソムラで相互作用や眠気の持ち越しが問題となる例

ラメルテオン錠8mg
1錠 分1寝る前

(22.8円/錠)

(夕食後でも可)
即効性は期待できない
→**頓用(不眠時内服)**
とはしない

※ベルソムラとデエビゴは同時処方しない(定期+屯用等)
※リファンピシンの処方がある場合は、例外的にラメルテオン+トラゾドンを推奨
※超高齢ではデエビゴ2.5mgを推奨(眠気の持ち越しあれば夕食後でも可)

CYP3Aを強く阻害する薬剤

イトリノール(イトラコナゾール),
ノクサフィル(ボサコナゾール),
フイフェンド(ボリコナゾール),
クラリス(クラリスロマイシン),
ノービア(リトナビル)

() 内は一般名

第二推奨薬

◆若年者
◆併存疾患が少ない
呼吸抑制が問題となりにくい症例では第一選択可

エス・ピクロン錠1mg
2錠 (高齢者1錠)
分1寝る前

(7.7円/錠)

増量：不眠時1日2回まで
→追加頻度をみながら
定期内服薬の用量を調節
最高用量：3mg
(高齢者は2mgまで)

以下を追加 (※原発性不眠は適応外)

トラゾドン錠25mg (6.1円/錠)
1錠 分1寝る前 最高：100mg
(80歳以上) 0.5錠 分1寝る前から開始

増量：不眠時1日2回まで
(追加頻度をみながら定期内服薬の用量を調節)

改善に
乏しい

精神科コンサルテーションを検討

中途覚醒・混合型

第一推奨薬

デエビゴ錠5mg
1錠 分1寝る前

(71.3円/5mg/錠)
(44.9円/2.5mg/錠)

- 併用禁忌薬なし
- 重度の肝障害(Child-Pughスコア10~15)は**禁忌**
- ★及び併用注意の薬剤がある場合
→**2.5mg**で併用可能
- 年齢による用量調節**不要**
- 眠気の持ち越しある場合→2.5mgに減量

ベルソムラ錠15mg
1錠 分1寝る前

(90.8円/錠)

- ★と併用**禁忌**
- 年齢により用量調節が**必要**(高齢者15mg)
- 細かな用量調節はできない

第二推奨薬

◆若年者
◆併存疾患が少ない
呼吸抑制が問題となりにくい症例では第一選択可

エス・ピクロン錠1mg
2錠 (高齢者1錠)
分1寝る前

(7.7円/錠)

増量：不眠時1日2回まで
→追加頻度をみながら
定期内服薬の用量を調節
最高用量：3mg
(高齢者は2mgまで)

() 薬価 (2025.4時点)

改善に
乏しい

- ・ QT延長を起こす薬剤との併用は注意
- ・ ワルファリン内服中の患者は注意(作用減弱)
- ・ 緑内障、排尿困難患者注意(抗コリン作用)